

第 1 章

環境科学センターの概況

1 沿革

昭和39年10月	衛生研究所に公害調査課が設置される。
45年 6月	総合計画部公害課を知事直属の公害課に改め、出先機関として公害センターが設置される。
46年 4月	衛生研究所公害調査部を吸収し、監視課及び調査課の2課制となる。(職員数25名)
47年 8月	現在地に公害センター新庁舎が完成する。
48年 4月	公害センターの機能を強化するため、監視課及び調査課が廃止され、新たに総務課、大気課、水質課及び特殊公害課の4課制となる。(職員数34名)
62年 3月	大気汚染監視テレメータシステム中央監視局の運営業務を開始する。
62年10月	環境放射能測定業務を開始する。
平成 5年 2月	衛星通信を利用した大気環境ネットワークが完成し、運営業務を開始する。
6年 4月	公害センターは環境科学センターに、特殊公害課は生活環境課に名称を変更する。
12年12月	環境マネジメントシステムの国際規格 (ISO 14001) を認証取得する。
14年 2月	財団法人環日本海環境協力センターが、環境科学センター内に環日本海海洋環境ウォッチシステムを設置する。
16年 2月	環境省が黄砂観測用ライダー (レーザーレーダー) の第1号機を環境科学センター内に設置する。
16年 8月	文部科学省科学研究費補助金 (科研費) の指定機関となる。
18年11月	県内の大学や試験研究機関などからなる富山県温暖化調査研究会を設置する。
19年 2月	自らの事業活動によって生じる二酸化炭素や廃棄物などを削減し環境への負荷を低減するため、エコアクション21を取得する。
21年10月	第36回環境保全・公害防止研究発表会を富山県で開催する。

2 施設等の現況

(1) 位 置

富山県射水市中太閤山17-1

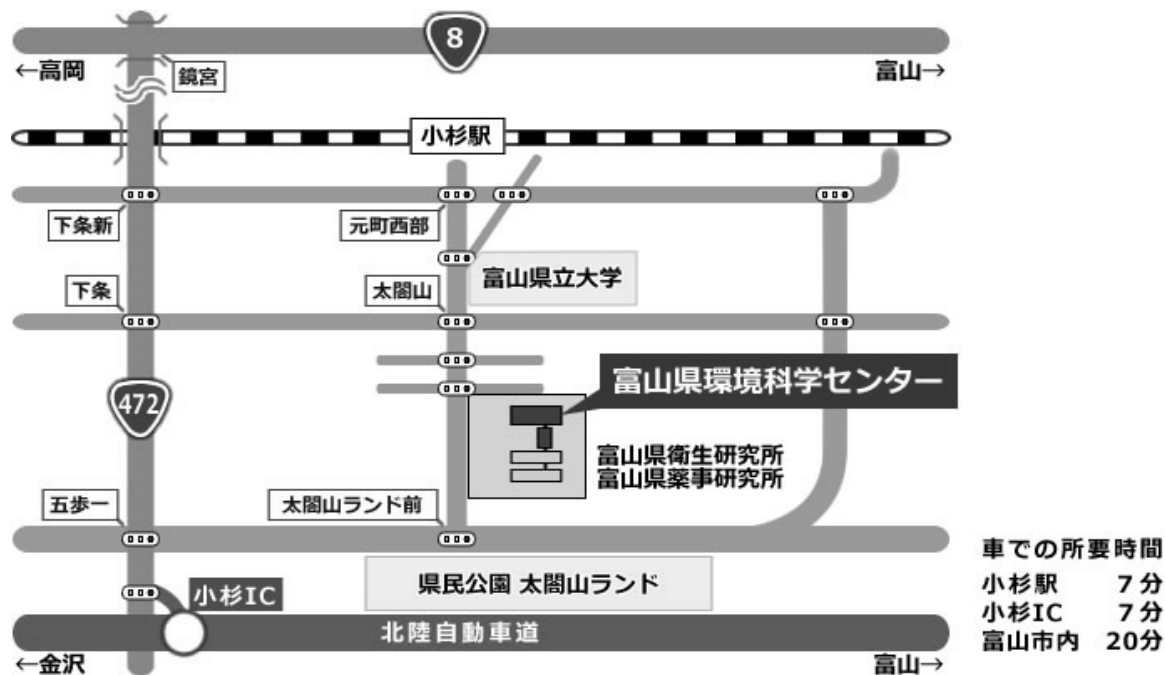
〒939-0363

TEL 0766-56-2835 (代表)

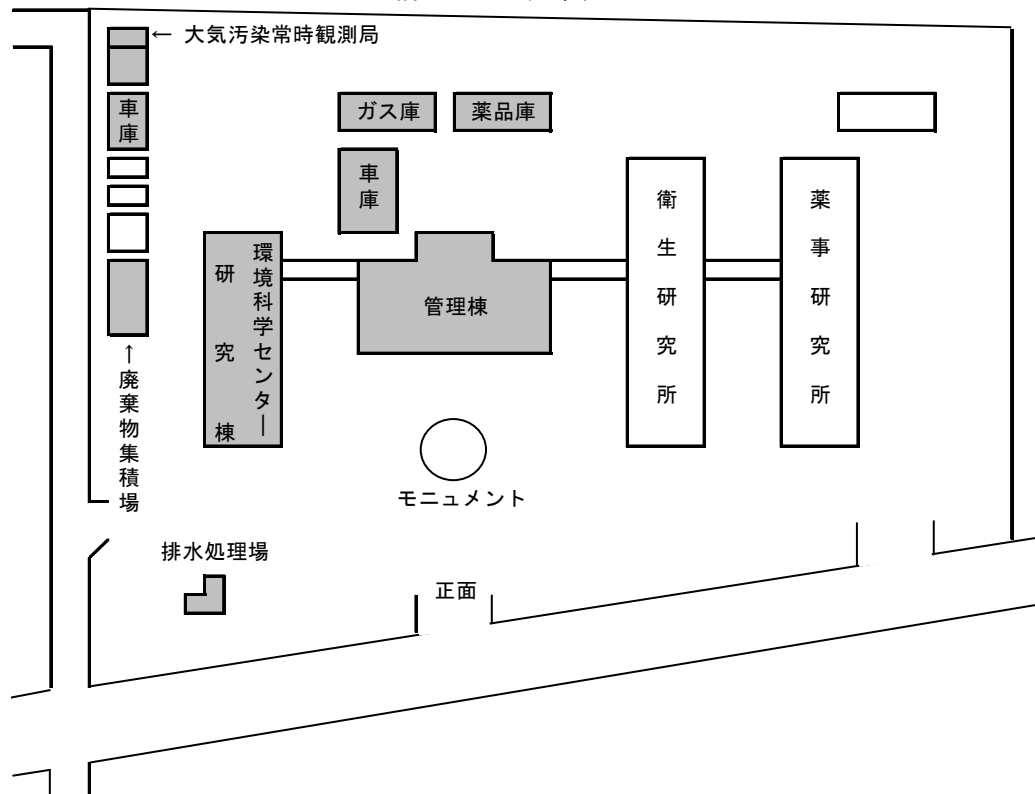
FAX 0766-56-1416

URL <http://www.eco.pref.toyama.jp/>

附 近 見 取 図



構 内 見 取 図



(2) 施 設 等

敷地面積 30,464m² 建物延面積 4,278m²

・管理棟 (延 1,551m²)

(1階) 事務分室、電気室、機械室、更衣室

(2階) 所長室、総務課、事務室

(3階) 講堂、会議室、図書室

・研究棟 (延 2,418m²)

(1階) 環境放射能測定室、情報管理室、大気環境ネットワーク中央室、大気常観準備室、環日本海海洋環境ウオッチシステム室 (NPEC)、騒音調査準備室、水質調査準備室、大気機器調整室、大気調査準備室、車庫

(2階) 水質化学分析室、産廃化学分析室、産廃前処理室、機器分析室Ⅰ、恒温恒湿実験室Ⅰ、試料冷蔵保存室、薬品室、器具室

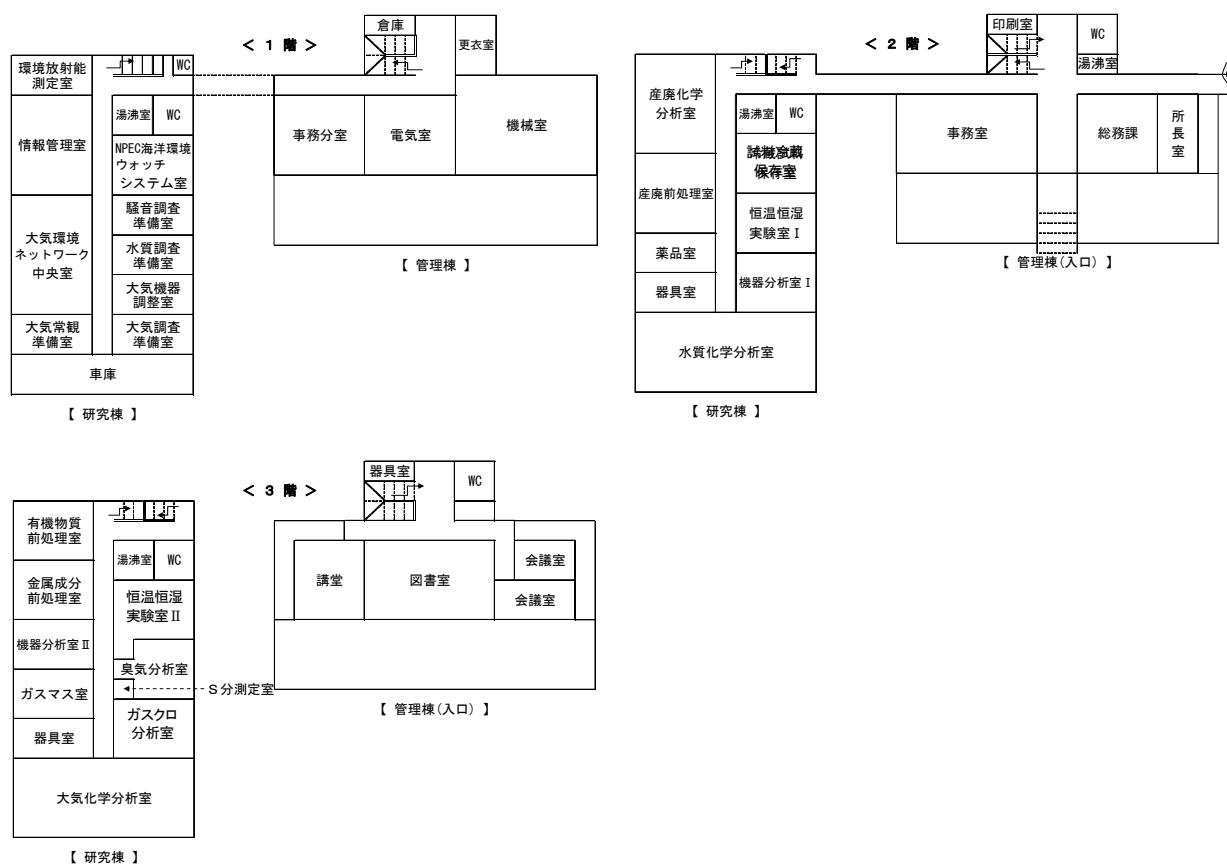
(3階) 大気化学分析室、有機物質前処理室、金属成分前処理室、臭気分析室、ガスクロ分析室、ガスマス室、恒温恒湿実験室Ⅱ、機器分析室Ⅱ、S分測定室、器具室

(塔屋) 機械室

・その他の建物 (延 309m²)

大気汚染常時観測局、廃棄物集積場、車庫、ガス庫、薬品庫、排水処理場等

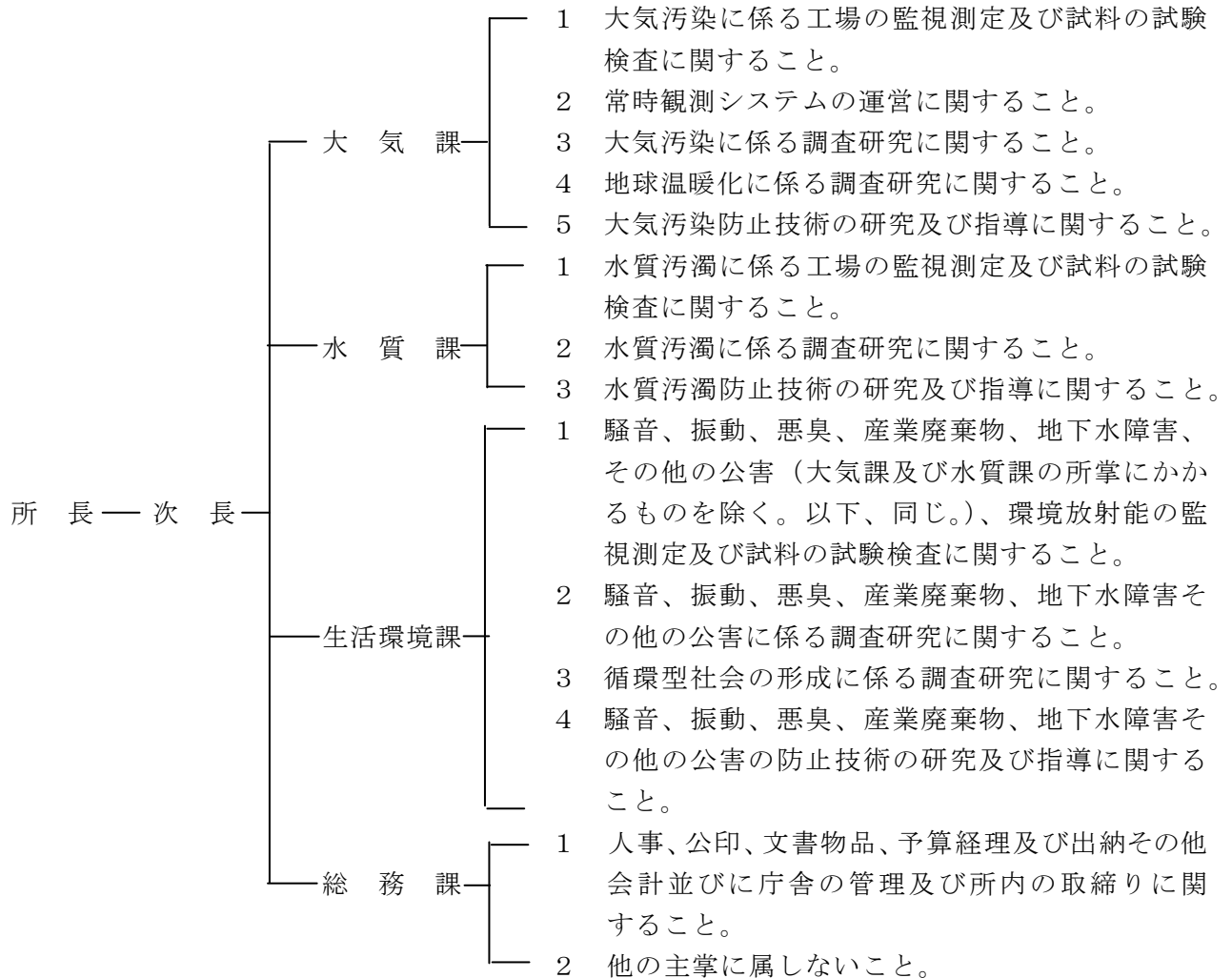
建 物 平 面 図



3 組織及び職員数

(1) 組 織

(平成 24 年 4 月 1 日 現在)



<プロジェクトチーム>

- ① 広報・情報プロジェクト・・・広報啓発、情報収集、情報発信・管理等に関する事。
- ② 研究推進プロジェクト・・・全国環境研協議会関係、研究課題評価、職員研修、研究報告、業務年報等に関する事。
- ③ 環境改善プロジェクト・・・環境改善活動、作業環境・公害防止設備の管理、機器整備及び分析技術管理等に関する事。

(2) 職 員 数

(平成 24 年 4 月 1 日)

種別 課別	事 務	研 究 員	現 業	計
所 長		1 ①		1 ①
次 長		1		1
総 務 課	4 ④		3 (1)	7 (1)④
大 気 課		6		6
水 質 課		6		6
生 活 環 境 課		9 ②		9 ②
計	4 ④	23 ③	3 (1)	30 (1)⑦

(注) 1 ()内は内数で、当所が主の兼務職員数

2 ○内は内数で、当所が従の兼務職員数

4 平成23年度歳出一覧

科 目	決 算 額 (千円)	主 な 事 業
人 事 管 理 費	3 4 2	技術開発派遣研修、客員研究員招聘
防 災 総 務 費	4 4 3	融雪調査
環 境 衛 生 総 務 費	5 7 0	再任用職員の共済費
公 害 防 止 総 務 費	1, 5 3 9	再任用職員の共済費
公 害 防 止 対 策 費	2 5, 7 4 2	常時観測局運営、河川及び海域の水質環境調査、騒音振動実態調査、底質環境調査、地下水観測調査
公 害 防 止 調 査 費	1 0, 7 2 8	環境ホルモン実態調査、ダイオキシン類環境調査、有害大気環境調査、環境放射能調査
環 境 保 全 推 進 費	4, 0 4 2	地球環境保全対策調査、産業廃棄物関係事業場の監視指導
環境科学センター費	4 6, 8 8 9	環境科学センターの運営、環境監視指導、調査研究解析、試験検査機器整備等
雇 用 対 策 費	1, 7 7 4	緊急雇用創出事業
工 鉱 業 総 務 費	1, 5 4 2	大学連携先端研究推進事業、研究評価委員会開催
計	9 3, 6 1 1	

5 主要機器及び装置

(平成24年4月1日 現在)

品 名	型 式	購入年月
ガスクロマトグラフ	島津 GC-7AG	S62・1
	HP 6890	H 8・3
	HP 5890 II	H10・3
	島津 GC-17A	H11・3
	Agilent 6890Plus	H13・3
	Agilent 6890N	H17・9
ガスクロマトグラフ質量分析装置	Agilent 5973N G2577A	H15・3
	島津 GCMS-QP2010Plus	H22・3
	Agilent 5975C	H23・12
ヘッドスペースサンプラー	Agilent G1888	H18・10
イオンクロマトグラフ	ダイオネクス ICS-2000	H18・10
高速液体クロマトグラフ	HP 1100	H11・3
原子吸光光度計	アナリティクイエナ ContrAA300	H21・10
I C P 質量分析装置	Agilent 7500 ce	H17・10
水質自動分析装置	ビーエルテック QuAAtro2-HR	H23・9
水質自動測定器	ブラン・ルーベ AACS-III	H14・3
炭素分析機器	Sunset Lab Model1	H24・3
C H N 計	柳本 MT-5	H元・6
全有機体炭素計	島津 TOC-V CSH	H20・8
位相差・分散顕微鏡	オリンパス BX51N-DPH	H19・7
煙道用窒素酸化物測定装置	アナテック・ヤナコ ECL-88A0	H16・8
重油いおう分分析装置	RX-500S	H 5・12
倒立型顕微鏡	オリンパス IMT-2	H 6・7
水銀測定装置	日本インスツルメンツ MD-1	H12・3
マイクロ波試料前処理装置	マイルストーンゼネラル START-D	H24・3
マイクロウェーブ分解装置	マイルストーンゼネラル ETHOS900	H11・7
遠心分離機	久保田 高速用7800	H 5・12
粉砕機	SPEX 8510	H 5・2
航空機騒音・環境騒音自動演算計	リオン NA-36	H12・3
	リオン NA-36	H16・9
航空機用自動演算騒音計	日東紡音響エンジニアリング DL-100/LE	H22・3
	日東紡音響エンジニアリング DL-100/LE	H22・10
ゲルマニウム半導体核種分析装置	キャンベラジャパン GC2518	H23・9

6 事業概要

(1) 環境科学センター日誌

月 日	内 容
4. 25	機器整備検討委員会の開催
5. 9～5. 10	社会に学ぶ『14歳の挑戦』(射水市立小杉中学校)
5. 26	講師派遣(北陸化学工学懇話会 2011 年度総会記念講演) / 北陸化学工学懇話会
5. 27	講師派遣(射水市環境衛生協議会第 6 回定期総会記念講演) / 射水市環境衛生協議会
6. 4	施設一般公開
6. 16	講師派遣(市民環境講座) / 射水市地球温暖化対策推進市民会議
7	環境とやま第 35 号発刊
7. 1	施設見学 / 富山県立大学学生
7. 15	施設見学・環境学習 / 富山大学学生
7. 23	講師派遣(2011 年度第 2 回日本海学講座) / 日本海学推進機構
7. 25～7. 29	インターンシップ(富山高等専門学校)
7. 26	夏休み子供科学研究室の開催
7. 27	研究課題内部評価委員会の開催
8. 8～8. 12	インターンシップ(富山高等専門学校、金沢工業大学)
8. 9	講師派遣(とやまエコキッズ探検隊) / 児童・一般
8. 22～8. 26	インターンシップ(富山県立大学)
9. 6～9. 10	職員海外派遣 / 草の根技術協力事業(中国遼寧省との黄砂に関する共同調査研究)
9. 9	施設見学・環境学習 / いみず地球温暖化防止活動推進員ワーオネットワーク
9. 12	機器整備検討委員会の開催
9. 28	研究課題外部評価委員会の開催
10. 11	施設見学 / 長岡市上組環境保全会
10. 18	研究成果発表会の開催(県民会館)
10. 19	施設見学 / 県政モニター
10. 21	施設見学 / たかおか女性アカデミー
10. 22～10. 23	とやま環境フェア 2011 に出展(テクノホール)
10. 31	環境セミナーの開催(演題: 立山で観測される越境汚染と黄砂)
11. 8	施設見学・環境学習 / 富山国際大学学生
11. 11	富山県温暖化調査研究会の開催(県民会館)
11. 16	施設見学 / 女性ネット高岡福岡地区婦人会
11. 29	施設見学 / 上市町消費者グループ市姫会
12. 16	施設見学 / 富山県立大学学生
1. 29	講師派遣(自然観察会「雪を楽しもう」) / 黒部市吉田科学館
2	環境とやま第 36 号発刊
2. 10	講師派遣(平成 23 年度水産船舶職員研修会) / 県農林水産総合技術センター
3. 10	講師派遣(第 6 回富山・高岡地区レスポンシブル・ケア地域対話) / 日本レスポンシブル・ケア協議会富山・高岡地区

（２）工場等の監視・指導業務

大気汚染防止法、水質汚濁防止法等に基づき、工場・事業場の規制基準の遵守状況を監視するため、次のとおり延べ 552 工場・事業場の立入調査を行いました。

また、中小企業における省エネ診断事業を 3 事業所で行いました。

ア	大気関係	-----	125	工場・事業場
イ	水質関係	-----	197	工場・事業場
ウ	産業廃棄物関係	-----	179	工場・事業場
エ	フロン回収破壊法関係	-----	15	工場・事業場
オ	地下水条例関係	-----	28	工場・事業場
カ	ゴルフ場農薬関係	-----	8	ゴルフ場

（３）環境調査業務

大気汚染、水質汚濁、騒音等の環境基準適合状況の監視、地球環境の保全等の各種の調査を実施しました。

ア	大気環境調査	-----	常時観測局による調査、有害大気環境調査、アスベスト環境調査、黄砂・酸性雨調査、環境放射能調査
イ	水質等環境調査	-----	河川水質環境調査、海域水質環境調査、湖沼水質環境調査、地下水水質環境調査、地下水位等調査、底質環境調査、立山地区調査、酸性雨影響調査
ウ	騒音実態調査	-----	自動車交通騒音調査、航空機騒音調査
エ	有害化学物質調査	-----	ダイオキシン類、環境ホルモン

（４）調査研究業務

地域における環境問題、将来的な課題等について、研究課題評価委員会等で意見を聴き、次のとおり 6 課題について調査研究を行いました。

また、研究成果発表会を開催し、成果を広く県民に発表しました。

ア	地球温暖化の影響等に関する調査研究（Ⅱ）
イ	東アジア地域からの大気降下物に関する研究（Ⅱ）
ウ	省エネに配慮した排水処理施設の運転管理技術に関する研究
エ	富山湾の健全性に関する研究
オ	富山県における循環型社会構築に関する研究（Ⅱ）
カ	富山県の地下水涵養と流動に関する研究

（５）環境学習業務

県民に、環境問題への関心と当センターの業務内容についての理解を深めていただくため、施設の一一般公開及び大気、水、廃棄物関係の環境学習の場を提供しました。

また、社会に学ぶ「14 歳の挑戦」、夏休み子供科学研究室及びインターンシップ事業に協力して小中学生及び大学生を受け入れたほか、各種の機関・団体からの依頼に基づき地球温暖化問題等の環境に関する講座、研修会等に講師を派遣しました。

（６）国際環境協力業務

国境を越えて影響を及ぼす黄砂現象を実感し環境保全意識の高揚を図るため、北東アジアの産学官が連携協力して広域モニタリングとして実施している「黄砂の視程調査」に参加しました。

（７）環境改善業務

自らの事業活動によって生ずる二酸化炭素、廃棄物等を削減し、環境への負荷を低減するため、エコアクション21に取り組むとともに、当センター周辺地区で清掃活動を実施し、地域の環境美化に努めました。